

3
安東

S 1.1.1.0-8

2178

0173

REEL No. A-0075

0173

アジア歴史資料センター

秘

電信寫

字
九
月
廿
一
日
午後
三
時

昭和6

暗

安東

本省

九月廿一日後發

暗

米澤領事

米澤領事

第一三三號

一 我守備隊ノ安東市街占領以來一發鮮人ノ中國人ニ對スル態度ニ
 微慢トナリ不必要ニ支那街ヲ彷徨シ或ハ無理難題ヲ吹掛ケテ中國人
 ノ反感ヲ誘發スルニ至リタルヲ以テ警察ヲシテ晝間無用ノモノノ支
 那街進入ヲ制限スルト共ニ夜間ハ一切ノ鮮人出入ヲ嚴禁セシムル一
 方朝鮮人會ニ命シ此際中國人ニ對スル態度暴戾ニ一發ノ注意ヲ用ヒ
 無用ノ反感ヲ抱カシメサル様各自充分ノ自省ヲ爲スヘキ旨ノ傳單ヲ
 印刷シ一發ニ配布セシメタリ尙新義州方面ヨリノ鮮人渡來ニ對シテ
 八 國協定ニ取據方妥當セリ
 三 鴨綠江上下流及興地居住ノ朝鮮人保護ニ際シ廿日隊長ヲ往訪シ各
 地方當該ノ意ニ示達方妥求シ置ケリ
 前電ノ通りノ外朝鮮總督、綏東長官ニ專電セリ

手
分
の
保
護

S 1.1.1.0-3 2180

S 1.1.1.0-3 2179

0174

REEL No. A-0075

アジア歴史資料センター

亞細亞局

機密第五三五號

昭和六年九月二十一日

在安東

領事 米澤 菊



外務大臣男爵 幣原喜重郎 殿

日支兵衝突後ノ鮮人取締ニ關スル件

朝鮮人ノ取締ニ關シテハ曩ニ電報ヲ以テ及報告
置キタル通ナル處右ニ關シ當地朝鮮人會ラシテ
配付セシメタル印ノ副物尤記譯文ノ通
右何等御参考止報告ス

元記

在安東日本領事館

昭和六年九月廿六日接印

0175

2181

8 1.1.1.0-8

0176

2182

8 1.1.1.0-8

時局ニ關シ同胞ニ望ム
今次日本軍隊ノ行動ハ一部中國軍憲ノ所為ニ對
シ不得已ニ出タル部分的自衛手段ニ不違ニテ彼
我ノ國交ニ衰リ無ク西國人氏間ニ背離ヲ生スヘキモ
ノニ非ス故ニ此際中國人ニ對シテハ特ニ言動ヲ慎
ミ根リニ銜路ヲ彷徨ニ或ハ不遜ノ舉動ニ出ツ
ル等徒ラニ彼ノ感情ヲ害スルカ如キ舉措無カラ
ムトテ望ム特ニ牆壁相接ニ朝夕面語ノ機會多
キ農村僑居ノ同胞ニ在リテハ一層自重シ寧口此
機ヲ善用シテ友交更ニ一步ヲ進メ以テ安住ノ後圖ニ
資スルヲ緊要トス

昭和六年九月二十一日

在安東日本領事館

安東朝鮮人會

本信寫送附先
公使北平奉天南京長春牛莊鏡嶺
遼陽南東廳朝鮮總督府

在安東日本領事館

BII

0177

2183

S 1.1.1.0-8

秘

字

電信寫

昭和6

暗

安東

本省

九月廿二日 後着

亞

相場

幣原外務大臣

米澤領事

第一三七號

上流各地ヨリノ情報ヲ綜合スルニ事件後管内奥地中國官民ハ近日中ニ我軍カ上流各地ニモ一齊ニ越江シ進入スル如ク臆測シ或ハ江岸ヲ警戒シ或ハ避難準備ヲ爲ス等甚ク動搖シ反日感情高マリツツアルハ疑無ク從テ在在朝鮮人ハ中國官民ノ危害及フ無キヤヲ恐レ不安ニ願

九月廿五日 濟レ居ルモ未タ急迫加害等ノ具体的發生事故無キカ如シ

公使、北平、奉天。朝鮮總督へ轉電セリ

S 1.1.1.0-8

2184

0178

立

電信課長

大臣

次官

亞細亞

歐米 通商 條約 情報 文化 人事 會計

寫送先

分類 A. 1. 1. 0. 21-1)

昭和6 14734 暗

安東 本省

三日前發 十月三日後着

亞

幣原外務大臣

第一五二號

往電第一四九號後段ニ關シ

其後上流地方ヨリノ情報ニ依レハ時日ノ經過ト共ニ人心漸次安定シ
日本軍ノ渡來又ハ^鮮地ヨリノ襲撃等ノ浮説日ニ薄ラキ既ニ避難シタ
ルモノモ續々歸還中ニシテ支那側警戒モ夜間警備ノ爲必要ナル少數
ノ兵ヲ各地ニ殘留スル外非常召集ノ公安隊員ハ引續キ解散シ居レル
趣ナリ
尙上流地方ニ於ケル移住鮮人ノ間ニハ一般ニ今次ノ事變ヲ機會ニ日

記録件 滿洲日支軍衝突事變ノ一事件
在留邦人保護及凡リ務均等

米澤領事

外務省

S 1.1.1.0-8

2185

0179

記

本カ東三省ヲ占領シ之ヲ完全ニ日本ノ治下ニ置クニ至ランコトヲ希
望スルト共ニ萬一充分ナル鮮人保護ノ策ヲ講セスシテ撤兵スルカ如
キコトアランカ支那側ノ鮮人壓迫ハ從前ニ倍シテ耐フヘカラサルニ
至ルヘントテ憂慮スル向多キ由ナリ
在支公使、北平、奉天へ轉電セリ
鐵嶺、長春、牛莊、遼陽へ暗送セリ

外務省

S 1.1.1.0-8

2186

0180

電信課長



大臣

次官

亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人事 文書 會計

寫送先

(分類 11.1.0.21-1)

昭和6 一四七三九

暗

安東

本省 十月三日後着

亞

幣原外務大臣

米澤領事

第一五三號

往電第一三六號新義州守備隊ノ安東移駐ト共ニ同守備隊ハ附屬地ヲ
安東守備隊ハ支那街ヲ各受持地域トシテ警備中ノ處昨今近郊各地ニ
殘兵又ハ馬賊ノ横行出沒ヲ見ルニ至リタル爲安東守備隊ハ卅日支那
街ノ警備ヲ憲兵分隊ニ移管シ縣政府ニ配セシメ守備兵ヲ引揚ケ主
トシテ鳳凰城街道九連城街道大孤山街道鴨綠江岸其他附屬地外ノ重
要地點等凡テ(脱)ノ警備ニ當ル事トナレリ
支、北平、奉天へ轉電セリ

外務省

S 1.1.1.0-8

2187

記

0181

長春、哈爾賓、吉林、鐵嶺、牛莊、遼陽へ暗送セリ

外務省

S 1.1.1.0-8

2188

0182

朝鮮亞局

機密第五七二號
昭和六年十月九日

在安東
領事 米澤 菊



外務大臣男爵幣原喜重郎殿

事變後ニ於ケル中國側ノ我在留民保護ニ關スル件
今回ノ中日軍衝突事變勃發ト共ニ本官ヨリ安東縣長^{米澤}對シ管内各地
ニ於ケル日鮮人ノ保護方申入レタル次第ハ不取敢電報致シ置キタル
通アル處其ノ後寬甸縣政府ヨリ容月廿五日附公文ヲ以テ從來共境内
ノ韓僑ハ充分保護シ來レルカ日本領事申入ノ次第モアリ一層保護方
注意スヘキ旨別紙甲號寫ノ通直接申越來リ又營安東縣長ヨリモ本月
六日附公文ヲ以テ茲ニ本官ノ日鮮人保護方ノ申入ヲ各縣ニ轉達致シ

在安東日本領事館

S 1.1.1.0-8 2189 0183

置キタルニ對シ寬甸縣政府及岫巖縣政府ヨリ夫々管下ヲ嚴重取締ル
ヘキ旨別紙乙號寫ノ通回答アリタル趣申來リタルニ付何等御參考迄
右報告申進ス

本信寫送付先 公使 北平 奉天

在安東日本領事館

S 1.1.1.0-8 2190 0184

甲号

寬甸縣政府照會 字第一七九號

爲照會事本月二十四日准安東縣政府號代電開頃准駐安日領來言各地日鮮居民務使相安萬勿有仇報舉動以免別生枝節請轉電等語查核所見極是敬電查照切實飭屬注意保護爲幸等因准此查做縣對於境內駐居韓僑前以彼此素向親睦原無隔閡會經佈告務各安居不得聽信謠傳或有仇視一面並通飭切實認直保護等因在案准電前因除再飭屬一體遵照切實保護韓僑務使安居並佈告暨電復外相應照覆

右照會

駐安東日本領事

遼寧省寬甸縣縣長 張之鵬

中華民國二十年九月二十五日

在安東日本領事館

S 1.1.1.0-8

2191

0185

乙号

照會

二十年外字第四八號

遼寧安東縣政府爲照會事案准
貴領事面洽各地日鮮居民務使相安萬勿有仇報舉動以免別生枝節請轉電等因准此當經分別轉電去後茲准寬甸縣政府經代電稱查飭屬保護在境韓僑迭經三令五申准電前因極表贊同除再飭屬一體切實保護並遵照覆外謹此電覆等因復准岫巖縣政府敬代電稱號代電敬悉自遼寧衝突消息傳來做縣長即嚴飭所屬對於日鮮僑民妥爲保護決不准有仇視舉動並告知在岫日僑務各安心勿恐在案茲准號電除再嚴飭所屬一體遵照外相應電覆希即查照等因前來相應照會
貴領事請煩查照爲荷此照會

大日本駐安東領事官米澤

在安東日本領事館

S 1.1.1.0-8

2192

0186

先送

會文人情條通歐亞
計書事化報約商米

大臣
次官

電信課長

(分類 A.1.1.0.21-1)

昭和 一六三九六 暗 安東 十七日後發 亞
 幣原外務大臣 本省 十月十七日後着

第一六九號 米澤領事

大臣發奉天宛電報第二五九號ニ關シ現在判明ノ分不取敢左ノ通

(一)イ、帽兒山ヨリ平北へ避難シタル内地人七戸七名鳳城縣ヨリ當地
 へ避難シタル鮮人一戸二名ロ、該當者ナシ

(二)本月十日以前ニ於テ當地ニ避難シタル鮮人ハ當地鮮人會ニテ汽車
 賃及辨當代ヲ立替へ鮮内へ送還シタルカ其合計六名、内世帯主二
 妻一、子供男一、女二、計男三名女三名十一日鮮人總計十九名他
 管内ヨリ當地へ避難シ來リタルカ之等ハ朝鮮鐵道ノ運賃免除ヲ得

記録簿

外務省

S 1.1.1.0-8

2194

0188

中華民國二十年十月六日

遼寧安東縣縣長 王介公

在安東日本領事館

S 1.1.1.0-8

2193

0187

寫送先

會文人文情條通歐亞
計書事化報約商米細亞

次大臣
官

電信課長

(分類 A.1.1.0.21-1.)

第一六九號ノ二
事件發展ノ模様ニ依リ豫想付カサルモ事態此ノ上悪化スル場合ハ
當地方ハ朝鮮ヘノ門戸ナルニ加ヘ比較的安全地帯ナルヲ以テ他方面
ヨリノ避難者續出シ來ルヘシト豫想セラルルカ假令事件ノ發展ヲ見
ストスルモ(管)内ニ於テ邦人ニ對スル悪感乃至危険ノ豫想等ニ依
リ支那人地主等ハ鮮農ニ對シ耕作ニ必要ナル資金ノ貸付ヲ收穫後資
金ノ回收ト共ニ打切ルコトアルヘシト憂慮セラレ其ノ際ハ從來安定
シ居タル鮮農等ハ續々移動スヘク當地方常外ハ鮮内等ヘ流入シ來ル

幣原外務大臣

昭和6

一六四〇三

暗

安東
本省

十七日後發
十月十七日後着

亞

米澤領事

外務省

S 1.1.1.0-8

2196

0190

本官ニ於テ少額ノ救助費ヲ支給シ昨十六日各郷里ヘ送還シタルカ
右十九名ノ内興京縣ヨリ來レルモノ計十八名世帯主三名妻四名十
二才以上ノ子供四名十二才未滿四才以上四名四才未滿三名計男八
名女十名輝南縣ヨリ來レルモノ世帯主男一名

外務省

S 1.1.1.0-8

2195

0189

ノ虞アリ

(四)本官ニ於テ既ニ支出シタル分金二十六圓二十九錢ナルカ將來(三)記載ノ理由ニ依ル多數鮮人ノ來入ナキ限り差當リ三百圓位ニテ足ルヘキ見込

(五)鮮人避難ノ場合汽車賃ヲ有セサルカ爲遠路徒歩ニテ避難シ來ルモノアル處最近朝鮮鐵道ニテハ避難民タル確證アル者ニ對シ汽車賃ノ免除方決定シタルニ付滿鐵側ニテモ何等然ルヘキ救助ノ方法ヲ講スルコト必要ト思考セラル

(六)避難鮮人ニ對シテハ可及的速ニ鮮内原籍地ヘ送還スルコト必要ニシテ若シ彼等ノ滯留ヲ許シ之ニ衣食ヲ給センカ管内各地ニ於ケル鮮人ハ目下ノ不安ニ鑑ミ相踵イテ當地ヘ殺到收拾ノ途ナキニ至ルヘシ

外務省

0191

2197

S 1.1.1.0-8

(七)奉天宛電報第二六三號御來示ノ點追報ス

奉天ヨリ哈爾賓、滿洲里、鄭家屯、齊々哈爾ヘ轉電アリタシ
支、北平、間島ヲ除ク在滿各領事ヘ轉電セリ

外務省

0192

2198

S 1.1.1.0-8

秘

發電昭和六年十月二十三日

通化在留民保護ニ關シ朝鮮警察官應援方ニ關スル件

在安東
米澤領事宛

幣原外務大臣

暗第六一號

貴電第一七一號ニ關シ

右ハ已ムヲ得サルモノト認メ別電第六二號ノ通り朝鮮總督宛電照シ
タルニ付御了知相成度

別電ト共ニ奉天、關東長官ニ轉電シ奉天ヨリ通化ニ轉電セシメラレ
タシ

在留民保護ニ關シ朝鮮警察官應援方ニ關スル件
在番邦人保護引揚及救済手帳
保護引揚及救済手帳
ハ(C)

外務省

6.10 S 1.1.1.0-8 2199 0193

記
録
簿
ハ(C)

發電昭和六年十月二十三日

通化在留民保護ニ關シ朝鮮警察官應援方ニ關スル件

在安東
米澤領事宛

幣原外務大臣

暗第六二號 (別電)

本大臣發朝鮮總督府宛第四九號
(以下同電全文)

外務省

6.10 S 1.1.1.0-8 2200 0194

亞細亞局
關機高第 第五〇四八號ノ二

昭和六年十一月十三日



關東廳 警務局長

昭和六年十二月拾八日 接受

拓	外	内	朝	奉	關	滿
務	務	務	務	務	務	務
官	官	官	官	官	官	官
長	長	長	長	長	長	長
課	隊	領	領	領	領	領
長	長	長	長	長	長	長
課	隊	領	領	領	領	領
長	長	長	長	長	長	長
課	隊	領	領	領	領	領
長	長	長	長	長	長	長
課	隊	領	領	領	領	領
長	長	長	長	長	長	長

寬甸縣方面ニ於ケル鮮農ノ狀況

遼寧省寬甸縣方面ニ於ケル敗殘支那軍隊其他ノ狀況調査ノ爲向ヒタル
竹尾安之助一行ハ本月五日夜安東ニ歸來シ同地方ニ於ケル狀況ニ付語

S 1.1.1.0-8

2201

0195

ル處左ノ如シ

一 支那軍隊ノ狀況：……寬甸縣ニハ鳳凰城第一團所屬一個連驅屯シ居タルカ事變發生ト共ニ桓仁縣ニ引揚ケ次テ十月下旬鳳凰城其他ヨリ移動シ來リタル敗殘兵一時滞在シ居タルモ東邊鎮守使于芷山ノ命令ニヨリ全部北山城子ニ向ヒ目下寬甸方面ニハ其ノ影ヲ留メス云々

二 支那官憲ノ態度：……寬甸縣方面ニ於ケル支那官憲ハ在留鮮人ニ對シテハ相當ノ好意ヲ寄セ保護ニ努メ居ル模様ニテ官憲對鮮人ノ間ニハ壓迫排斥等ノ事實ナキカ如シ

三 鮮人狀況：……寬甸縣及輯安縣在住ノ鮮農ハ其ノ多クハ極メテ貧困ニシテ例年冬期間ハ支那人地主等ヨリ生活費ヲ前借シ生活スルモノ大部分ナルカ今次ノ時局ハ支那人等ヲシテ其推移ヲ懸念センメ鮮人ニ對スル金品ノ貸與ハ之ヲ拒絕サルルニ至リ鮮農ノ生活上極度ノ脅

0196

S 1.1.1.0-8

2202

威ヲ與ヘ居レル模様アリ
尙輯安、寬甸兩縣駐在ノ朝鮮人會支部長ノ報告ニヨレハ兩縣在住ノ
鮮農ハ右事情ニヨリ餓死スルカ或ハ全部現地ヲ引揚クルノ外無キ狀
態ニ在リトノコトナルカ寬甸縣ニハ約一萬一千、輯安縣ニハ約一萬
五千ノ鮮農アリ新ル多數カ一時ニ引揚クル等ノコトアリテハ重大ナ
ル問題ナリトシ安東朝鮮人會等ニ於テハ相當憂慮シツツアリ成行注
意中ナルモ御參考迄

普通第六七一號

昭和六年十一月十三日

在 安 東
領 事 米 澤 菊



外務大臣男爵幣原喜重郎殿

錦州遼寧省政府ノ日本人保護方ノ訓令ニ關スル件
錦州遼寧省政府ハ本月六日附ヲ以テ安東縣長ニ宛左記(譯文)ノ如
キ日本人保護方ニ關スル訓令ヲ發シ來レル趣ナリ

記

本府各廳處各縣長宛ノ二十二日發副司令ノ電令ヲ奉スルニ「此次遼

在安東日本領事館

S 1.1.1.0-8

2204

0198

S 1.1.1.0-8

2203

0197

吉事變發生後ニ於ケル日本人ノ保護方並ニ口實ヲ與フルコトナキ様
處理スヘントハ既ニ通令セル所ナルカ茲ニジュネブ電ニ依レハ國際
聯盟主席ブリアンハ我代表ニ對シ接收ノ際ナルヲ以テ特ニ日本人ノ
生命財産ヲ保護スヘク萬一危害ヲ加フルカ如キコトアル場合ハ外交
進行上必ス困難ヲ感スルモノナルヲ以テ特ニ注意ヲ喚起セリトアリ
査スルニ接收期間ハ我國國權ニ重大ナル關係ヲ有スルモノナルニ依
リ萬一方策ヲ誤リ日本側ニ口實ヲ與フルコトアル時ハ前途實ニ想像
ニ堪ヘサルモノアリ故ニ特ニ再令スルニ依リ本旨ニ依リテ處置シ並
ニ管下一帶ニ對シテ嚴達シ若シ重大事件ヲ發生セシメタル場合ハ其
主管者ノ責任ヲ問フヘシトノ趣ナリ抑モ日本人ノ保護方ヲ完全ニ
シ口實ヲ與ヘサル件ニ付テハ既ニ通令セル所ナルモ今再度命令ヲ奉
セシヲ以テ管下一帶ニ通令スルニ依リ本旨ニ依リテ處置シ決シテ違
背スルコトナキヲ要ス此ニ令ス

遼寧省政府 六日

在安東日本領事館

右御參考迄報告申進ス

本信寫送付先 公使 北平 奉天 牛莊 遼陽 鐵嶺 長春

在安東日本領事館

S 1.1.1.0-8

2206

0200

S 1.1.1.0-8

2205

0199

寫送先

會文人文情條通歐
計書事化報約商米

大臣
次官

電信課長

昭和6

二一四九七

暗

安東
本省

十二日午後着

亞

幣原外務大臣

米澤領事

第二〇二號

奉天宛貴電第三四一號ニ關シ

一(イ)當地經由(安東朝鮮人會取扱)

朝鮮管内へ避難セル者成年男子五名未成年男子及婦女子八名外ニ管

内各地ヨリ直接朝鮮内へ引揚ケタル者相當多數ニ上ル見込ナルモ調

査未完了ニ付追電ス

(ロ)トモニ該當ナシ

ニ他管内ヨリノ避難者累計成年男子一三四名其他二〇九名合計三四

記録係一件

外務省

S 1.1.1.0-8

2207

0201

三名内現在收容滞在中ノ者成年男子一七名其他二八名計四五名ナリ
而シテ之等避難民ヲ前居留地別ニ區分スレハ奉天管内ヨリ一五五名
鐵嶺管内ヨリ九八名長春管内ヨリ三一一名營口管内ヨリ一九名吉林管
内ヨリ一八名間島管内ヨリ六名哈爾濱管内ヨリ五名鄭家屯遼陽齊々
哈爾管内ヨリ各三名赤峰關東廳管内ヨリ各一名トナル
三前記ノ外管内鳳城縣ヨリ成年男子一名避難シ來レルモ現住地ニ引
返セリ
奉天へ轉電シ吉林、哈爾濱、鐵嶺、長春、鄭家屯、齊々哈爾、遼陽
間島、牛莊、赤峰、關東長官へ暗送セリ

外務省

S 1.1.1.0-8

2208

0202

寫送先

會文人文情條通歐亞
計書事化報約商米細亞

大臣
次官

電信課長

分類 A.1.1.0.21-1

合第一〇五號
（有頭電報之概）
沿線各地ヨリ毎日多數ノ鮮人當市ニ避難シ來リ當館トシテハ所用入
費ヲ鮮カラシムル爲出來得ル限リ之等ヲ鮮内へ歸還セシメ以テ收容
救護ノ人員ヲ制限シ居ル次第ナル處之等鮮内歸還避難民モ從來全部
一旦當地ニ下車シ改メテ新義州ヨリ乗車スル關係上（新義州ヨリノ
乗車ニアラサレハ朝鮮側ニ於テ鐵道無賃ノ取扱ヲ爲サス）宿泊衣食
費等ニ鮮カラサル費用ヲ要スル次第ナルニ付今後貴地方ヨリノ當方
而避難者ニ對シテハ當地ニ下車セス直接鮮内郷里へ赴ク様貴管下各

幣原外務大臣

米澤領事

昭和6 二一六九七 暗

安東 四日後發
本省 十二月四日後着 亞

S 1.1.1.0-8

2210

0204

外務省

寫送先

會文人文情條通歐亞
計書事化報約商米細亞

大臣
次官

電信課長

分類 A.1.1.0.21-1

十一月十九日附温州居留民財産共同調査方ニ關シ市政府ヨリ實行方
督促アリタリ何分ノ儀至急御申越ヲ請フ
公使ヨリ上海へ轉報アリ度シ
外務大臣へ轉電セリ

第五二號

本官發上海宛電報第六號

幣原外務大臣

米内山領事代理

昭和6 二一四五五 暗

杭州 二日前發
本省 十二月二日後着 亞

S 1.1.1.0-8

2209

0203

外務省

警察署トモ聯絡ノ上必要ノ措置ヲ講セシムル様致度シ
大臣、關東長官へ轉電セリ

外
務
省

6 1.1.1.0-8

2211

0205

REEL No. A-0075

0145

アジア歴史資料センター

陸軍部

普通第七四一號

昭和六年十二月十五日

昭和六年三月拾九日發

在安東
領事米澤為

外務大臣 犬養 毅 殿

避難鮮人の送還取扱ニ關スル件

滿洲各地ヨリ當安東ヲ經由シ鮮内ニ歸還
スル避難鮮人ノ取扱ニ付テハ從來朝鮮僑
ニ於テ當地ヨリ乘車ニ對シテハ鐵道賃割引
ノ恩惠ヲ與ヘス為ニ當地ヨリ一々新義州府ニ引
渡シ同地府ヨリ証明ニ依リ新義州府ヨリ

乘車セシメ居リシ處斯クテハ便ニ無用ノ手
数ト費用トヲ要スル次第ナルニ鑑ミ先般
未取扱ノ簡括及相互経費節約ノ見地ヨ
リ右取扱変更方ニ關シ總督府及平北道
廳側ト交渉中ナリシカ今因漸ク本官証明
ノ下ニ安東駐ヨリ乘車セシムルト共ニ同駐及新
義州駐向ノ輸送費ハ總督府ニ於テ之ヲ負
担スルコトニ協議經テ十二月十五日ヨリ右ノ通
實施スルコトナリタリ右報告申進ス

本信寫送付先
奉天 吉林 哈爾濱 長春 牛莊 遼陽 鉄嶺
齊々哈爾濱 鄭家屯 南東長官

S 1.1.1.0-8

2213

S 1.1.1.0-8

2212

0206

寫送先

會文人文情條通歐亞
計書事化報約商米細亞

次大臣
官

電信課長

(分類A.1.1.0.21-1)

昭和6 二二七九二 暗 安東 十七日後發 亞二
 本省 十二月十七日後着

犬養外務大臣
 第二一五號

往電第二〇二號ノ(イ)ニ關シ

客月卅日迄ニ管内各地ヨリ直接朝鮮内ヘ引揚ケタルモノ三十二戸百
 二十六名尙其ノ後ノ引揚者相當多數ニ上ル見込ニシテ目下引續キ調
 査中

奉天、關東廳長官ヘ轉電セリ

S 1.1.1.0-8

2215

0208

外務省

記録係 滿洲日支衝突關係一件 在留邦人保護引揚手係

寫送先

會文人文情條通歐亞
計書事化報約商米細亞

次大臣
官

電信課長

(分類A.1.1.0.21-1)

昭和6 二二七七〇 暗 安東 十七日前發 亞
 本省 十二月十七日後着

犬養外務大臣
 第二一四號

奉天宛貴電合第一九五號ニ關シ

當地朝鮮人會ニ於テ其責任上支出セル金額ハ避難所設備費トシテ百
 二十四圓但右ハ往電第二一三號中ニ指摘濟ミ

奉天ヘ轉電セリ

S 1.1.1.0-8

2214

0207

外務省

電信課長

大臣

次官

亞細亞

歐米 通商 條約 情報 文化 人事 文書 會計

先送寫

11.1.0.21-1

昭和6 二三〇四八 暗

安東 本省 十二月二十一日後着

亞

犬養外務大臣

第二二一號

電第二一九號ニ關シ

一行ハ十九日正午龍王廟ニ於テ二十三名ノ匪賊ヲ發見交戦二時間半ニシテ之ヲ撃退（匪賊ノ死亡者三名我方ニ被害ナシ）ノ上守備隊ハ一先ツ引揚ケタルカ警察隊ハ大孤山ニ入り一泊ノ上同地在留民十六名（男女各五、子供男女各三）ヲ伴ヒ二十日午後歸還セリ
尙往電第二二〇號安奉線中間驛ノ危險ニ鑑ミ滿鐵ニ於テ驛員家族ノ安全地帯引揚方考慮中ニシテ既ニ林家台ヨリ四家族八名ハ十九日安

外務省

S 1.1.1.0-8

2216

0209

東ニ避難シ來レリ
公使、北平、奉天へ轉電セリ

外務省

S 1.1.1.0-8

2217

0210



普通第七五六號

昭和六年十二月二十一日

在安東

領事 米澤 菊



外務大臣 犬養 毅 殿

避難民ニ對シ健康診断施行ノ件

當地ニ於ケル避難民ノ收容増加ニ伴ヒ自然衛生方面ニ付アモ相當注意ヲ加フルノ要アルヲ認メ本月十五日收容中ノ避難民二百十九名ニ對シ同會ヲシテ健康診断ヲ施行セシメタル處三名ノ麻疹患者ヲ發見シタル外別段異狀ナカリキ
右報告申進ス

在安東日本領事館

昭和六年十二月廿六日 發受

林



追テ此種ノ健康診断ハ今後隨時施行ノ豫定ニ有之尙前記ノ患者ハ本人等ノ希望ニ依リ即日鮮内へ歸還セシメタルニ付爲念申添フ
本信寫送付先 奉天 朝鮮總督府外事課長

在安東日本領事館

S 1.1.1.0-8

2219

0212

S 1.1.1.0-8

2218

0211

